

ゆすっ子・みやっ子交流事業の紹介

梶原町では友好交流都市西宮市との交流事業の一環として、平成3年より町内の5年生と西宮市の5年生とを対象に、隔年ごとに受け入れ、訪問を行う児童交流事業を実施しております。

梶原町の受け入れ



子どもたちの交流と、子どもたちが自然とふれ合い、農山村の生活や農作業等の体験を通じて、自然の大切さや農山村及び都市の現状について相互理解を深めるとともに、心豊かな人づくりと両市町の友好関係をさらに発展していくように交流を持ちます。

民泊先で西宮とは違った社会や家庭の仕組みに触れ、自立心を養う様々な生活体験をしています。ゆすはらのお父さん、お母さんら家族と共に、ナス、トマト等夏野菜を畑から収穫し、採れたて野菜を食し、カブトムシやクワガタ捕り、川下り、四国カルストへのドライブ・・・など様々な体験をしています。

ゆすっ子、みやっ子合宿では、合同の班を編成し、川遊び、魚とり、脱藩ウォーク、セラピーウォーク、飯盒炊爨、、、、など、キャンプをしたりしています。



西宮の受け入れ

梶原町の児童を西宮市に派遣し、西宮の児童たちとの交流のもと、都市生活現状などの相互理解を深め、心豊かな人づくりを図り、両市町の友好関係をさらに発展させる。

民泊先では映画、花火、水族館等、いろいろな所に連れて行ってもらっています。

ゆすっ子、みやっ子合宿では合同の班を編成して、西宮市立郷土資料館、朝日新聞阪神工場、ヨット見学等・・・甲山自然の家においてキャンプをしています。

双方で行われるキャンプファイヤー

ゆすっ子みやっ子交流事業でのキャンプファイヤーの火は一生に一度のみ経験することが出来る、ゆすっ子みやっ子の出会いの火です。心に灯しながら自然の大切さやふるさとの良さ、農山村と都市の交流で得た多くの感動と楽しい思い出を、これからの人生の財産としてくれることを期待します。

